

2002年(平成14年)2月10日(日曜日)



豊橋の病院

↓ローマの学会

心臓手術を衛星生中継

生中継された循環器手術の様相（豊橋ハートセンター）

愛知県豊橋市大山町の循環器疾患専門病院「豊橋ハートセンター」（鈴木孝彦院長）で九日行われた循環器手術の様相が、イタリア・ローマで開かれている国際医学学会の会場に衛星生中継で紹介された。手術の海外生中継は数件の前例があるが、東海地方では初めて。

国際医学学会「JIM2002」は六日から九日まで開かれ、会場では世界各国からの生中継や研究発表が行われた。この日のテーマは循環器系で、技術の高い日本の中で、中継施設を持つ同センターに、ローマの循環器専門医学会から生中継の要請があった。

手術を担当したのは、鈴木院長や滋賀県立成人病センターの玉井秀男医師ら三人。心筋こうそくや狭心症の患者三人の手術を同時に進めながら、細くなったり角質化したりした血管に、「バルーン」と呼ばれる器具を挿入して広げた。

も紹介した。学会の会場では、専門医約三千人が手術の生中継を見ながら、手術中の医師に質問していた。

鈴木院長らは「バルーンを入れます」などと報告しながら手術を進め、画面に医師の手元をアップで映し、患部のレントゲン映像など